



平成 27 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 日 機 装 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 甲 斐 敏 彦
(コード番号 6376 東証第1部)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 西 脇 章
(TEL. 03-3443-3717)

紫外線 LED 事業の戦略的業務提携(合弁会社設立)に関する基本合意についてのお知らせ

当社は、平成 27 年 12 月 18 日付の取締役会決議により、当社の完全子会社である日機装技研株式会社(以下、技研)が、台湾の台塑石化股份有限公司(Formosa Petrochemical Corporation: 以下、FPCC)と紫外線 LED 事業における戦略的業務提携について、また、その中核を担う、深紫外線 LED の製造販売をグローバルに行なう合弁会社を設立することについて基本合意に関する覚書を締結することを決議しましたので、お知らせします。

記

1. 戦略的業務提携の理由

深紫外線 LED は、水の殺菌や空気の殺菌・消臭、医療用途での殺菌・治療、表面改質や樹脂/インク硬化用の光源、分析・計測機器向けの光源などとして、非常に広範な用途での使用が期待されています。深紫外線 LED の小型化、高効率化、長寿命化、低コスト化の進展により、環境に配慮した器具・装置に対するグローバルでの要請や、新興国での生活水準の向上に伴う用途への展開を図ることで、既存の水銀ランプの代替のみならず、水銀ランプでは満たすことができなかったグローバルでの大きな需要伸長が見込まれています。

これまで、当社及び技研は新規事業として深紫外線 LED の研究開発及び用途開発を行い、平成 27 年 5 月より石川県白山市の LED 専用工場にて量産出荷を開始しました。更に、同年 10 月には、世界最高出力(50mW)の深紫外線 LED の量産化、及び、同 LED を用いた小型・低消費電力の水殺菌モジュールの開発に成功しました。今後は、上述の需要伸長に応じて、紫外線 LED の事業拡大が期待されることから、深紫外線 LED のチップ、パッケージ、モジュールをグローバルで製造及び販売する体制を強化するだけでなく、深紫外線 LED のソリューションをグローバルに提供すべく、FPCC と戦略的業務提携、および、その中核となる合弁会社の設立に向けて、基本合意に関する覚書を締結することを当社の取締役会にて決議しました。当社及び技研の開発・技術・製造ノウハウ並びに医療機器を始めとしたアプリケーション開拓と、FPCC の強みとする低コストでの大量生産、FPCC が属する Formosa Plastic Group の持つ可視光 LED でのチップ及びパッケージ生産、並びに、Formosa Plastic Group の持つアジアを中心としたグローバルネットワークを組み合わせることで、上述の需要伸長に即応できると考えています。

2. 戦略的業務提携の内容

- (1) 当社及び技研が製造する深紫外線 LED チップ及び同チップを活用した器具・装置のグローバルでの販売
- (2) 当社及び技研が有する開発・技術・製造ノウハウを用いた深紫外線 LED チップ及び同チップを活用した器具・装置の製造、及びグローバルでの販売

2016 年の合弁会社設立後、まずは当社が製造する深紫外線 LED 製品の販売を開始し、その後、市場の需要動向を見ながら、合弁会社においてモジュール、パッケージ、チップ、及びウェハの製造を順次開始することで、2020 年にはソリューションの提供を含め、売上高 300 億円を目指したグローバルベースでの販売・生産体制を構築すべく、今後、詳細条件を検討していく予定です。技研は今後、更なる高出力化や歩留まり向上などの研究開発及び用途開発に注力することで、紫外線 LED 事業における技術優位性の維持及び向上に努めてい

く予定です。

3. 合併会社の概要

(1) 名 称	未定	
(2) 所 在 地	台湾国内にて検討中	
(3) 代表者の役職・氏名	未定	
(4) 事 業 内 容	深紫外線 LED チップ及び同チップを活用した器具・装置の製造及び販売	
(5) 資 本 金	未定	
(6) 設 立 年 月 日	未定	
(7) 決 算 期	12月31日	
(8) 純 資 産	未定	
(9) 総 資 産	未定	
(10) 出 資 比 率	日機装技研株式会社	51%
	台塑石化股份有限公司	49%
(11) 上場会社と当該会社との間の関係性	資 本 関 係	100%子会社の日機装技研株式会社を通じて、当該会社の51%の持分を取得する予定です。
	人 的 関 係	当該会社の取締役会へ取締役を1名派遣する予定です。
	取 引 関 係	当社より当該会社へ深紫外 LED のチップ及び同チップを活用した器具・装置の販売を予定しています。

4. 当該子会社の概要

(1) 名 称	日機装技研株式会社
(2) 所 在 地	東京都東村山市野口町2丁目16番地2 (日機装株式会社 東村山製作所内)
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 圓尾 樹生
(4) 事 業 内 容	日機装グループにおける製品および製造技術の研究開発
(5) 資 本 金	50百万円

5. 業務提携相手先の概要

(1) 名 称	台塑石化股份有限公司 (Formosa Petrochemical Corporation)	
(2) 所 在 地	台湾雲林県麦寮郷中興村台塑工業園區1-1	
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 陳 寶郎 (Bao Lang Chen)	
(4) 事 業 内 容	石油精製、油脂、及び、石油化学製品の製造販売	
(5) 資 本 金	95,260 百万 NT\$	
(6) 設 立 年 月 日	平成4年4月2日	
(7) 大株主及び持株比率 (平成26年12月末現在)	1) 台湾塑膠工業股份有限公司 (Formosa Plastics Corporation) 28.79% 2) 台湾化學纖維股份有限公司 (Formosa Chemicals & Fiber Corporation) 24.38% 3) 南亞塑膠工業股份有限公司 (Nan Ya Plastics Corporation) 23.34%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係性	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	当社より当該会社へポンプ・システム製品を販売しています。

	関連当事者への 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状況				
	決算期	平成24年12月期	平成25年12月期	平成26年12月期
連 結 純 資 産		206,289 百万 NT\$	240,371 百万 NT\$	239,555 百万 NT\$
連 結 総 資 産		467,408 百万 NT\$	482,226 百万 NT\$	473,045 百万 NT\$
1 株 あ た り 連 結 純 資 産		21.65NT\$	25.23NT\$	25.15NT\$
連 結 売 上 高		894,377NT\$	931,333 百万 NT\$	913,085 百万 NT\$
連結営業利益または営業損失(△)		△830 百万 NT\$	23,453 百万 NT\$	△174 百万 NT\$
連 結 経 常 利 益		該当なし	該当なし	該当なし
親会社株主に帰属する当期純利益		2,715 百万 NT\$	26,858 百万 NT\$	9,065 百万 NT\$
1 株 あ た り 連 結 当 期 純 利 益		0.29NT\$	2.82NT\$	0.95NT\$
1 株 あ た り 配 当 金		0.26NT\$	2.50NT\$	0.85NT\$

6. 日程

(1) 取締役会決議日	平成27年12月18日
(2) 覚書締結日	平成27年12月(予定)
(3) 合弁契約締結日	未定
(4) 事業開始日	未定

7. 業績に与える影響

今期は、合弁会社設立準備の年となるため、当社の連結業績に与える影響は軽微であり、当社の平成27年12月期の連結業績見通しに変更はありません。

紫外線 LED 事業の販売増加に伴い、来期は販売体制の確立に伴う販売管理費の増加、再来期以降は製造ラインの立ち上げによる減価償却費の増加による製造原価の増加を主要因とした営業利益の減少を平成29年12月期まで見込んでいますが、平成30年12月期以降は上記先行投資の回収による営業利益の黒字化及び増加を見込んでいます。

合弁会社の会社概要が確定し次第、速やかにお知らせいたします。

【業務提携先の参考】

FPCC は、台湾証券取引所に上場し、台湾プラスチックグループ(Formosa Plastic Group)の中核企業として、石油精製、油脂、及び、石油化学製品の製造販売などをグローバルに手掛けています。同グループは、可視光 LED の製造販売を行う、南亜光电股份有限公司(Nan Ya Photonics Incorporation)と福懋科技股份有限公司(Formosa Advanced Technologies Co., Ltd.)を傘下におさめています。

以 上